

高度外国人材の雇用から1年、 着々とスマートファクトリー化が進んでいる。

CASE 08

COMPANY

株式会社ニクニアサヒ



企業概要

- 企業名:株式会社ニクニアサヒ
- 所在地:山形県西村山郡朝日町宮宿1930番地
- 設立年:1973年
- 資本金:4,000万円
- 従業員数:108名
うち高度外国人材3名
- 国籍内訳:ベトナム2名、インドネシア1名
- 業種:製造業
- ホームページ:<https://www.nikuni-asahi.co.jp>

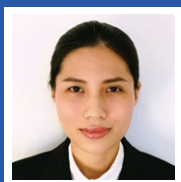
事業内容

神奈川県川崎市に本社を置く株式会社ニクニの子会社として創業。ニクニグループの一員として、産業用ポンプとポンプ応用装置の製造を担っている。主力の渦流タービンポンプは国内シェア70%を誇る。

企業インタビュー



社長付 改革推進担当
平田 竜一 氏 担当部署:人事



Nguyen Tuyet Hong 氏
(グエントゥエットホン) 担当部署:総務

高度外国人材を受け入れたきっかけ・背景

アジア圏での販路拡大とスマートファクトリー化を目指す

株式会社ニクニがアジア圏内の販路拡大のため、2021年、ベトナム オフィスを立ち上げました。経理として、大阪の日本語学校の生徒だったホンさんを紹介され、雇用しました。ニクニグループ初の外国人社員です。一方、当社ではスマートファクトリー化のため、AI・IoT技術、生産技術の知識のスキルがあり、即戦力になる人材を探して、高度外国人材の採用に踏み切りました。(平田氏)

高度外国人材受け入れに当たっての取組内容

生活しやすい環境づくりとビザの書類の作成代行をしている

生活支援として、アパートを借り上げ、住宅手当を支給しています。宗教への配慮としては、礼拝のために会議室の貸し出しも。あと、分かりにくい部分も多いので、ビザの書類の作成代行をします。入管(出入国在留管理庁)のホームページの説明を読み、分からないことは電話で教えてもらい、書類を作成します。3月卒業から4月入社までの短期間にビザを取得しなければいけなくて、緊張しました。(平田氏/ホン氏)

高度外国人材採用に当たっての課題と解決策

面接前日はリマインドして、面接では人事ビジョンを語る

採用の課題といえば、時間の感覚の違いに驚いたことがあります。面接の時間になっても現れないので、電話をしてみると、「忘れていました」「時間を勘違いしていました」と言うのです。採用スケジュールが狂ってしまうので、連絡回数を増やし、面接前日にはリマインドするようにしました。今在籍している3人は、遅刻も無断欠席も、もちろんなかったです。採否にかかわらず、面接のときの交通費・宿泊費は、当社が全

額負担しています。(平田氏)

外国人はわざわざ自国を離れて日本で働きます。だから、面接では、会社の人事や人材育成に関するビジョンを示したほうが良いと考えています。というのは、自分が何を期待され、この会社では自分はどういうキャリアを築けるのかが明確に分かれないと、入社を決断しづらいと思うからです。(ホン氏)

高度外国人材定着に当たっての課題と解決策

フォローアップ面談を行い、スキルアップを支援している

当社で高度外国人材を雇用してから1年、ニクニにホンさんが入社してからも2年半、今、定着に関する課題はありません。外国人だからというわけではなく、従業員には長く勤めてほしいから、フォローアップ面談を設けています。1カ月・3カ月・半年・1年後のタイミングで、人事担当の私と、直属ではない上司や先輩が同席して、公私両面の近況を聞き、支える仕組みです。今のところ、3人とも特に困りごとはないようで、安心していま

す。あとは、帰国のために長期休暇を取れる体制も整えています。(平田氏)

スキルアップのための支援も手厚いです。通信教育や外部研修を受講させてくれるので、私も資格取得に向けて活用しています。いまはRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション/情報処理を自動化する技術)を学び、事務の効率化を図っています。(ホン氏)

高度外国人材活用による成果・変化

新鮮な発想から新しい装置が生まれ、生産が効率化された

正直に言うと、ベトナムやインドネシアという国は知っていても、言葉も文化もよくは分かりませんでした。高度外国人材を雇用したことで、異文化を知ろうとする気持ちが強くなり、お互いの理解が深まりました。それは、会社を豊かにしていると感じます。

高度外国人材の業務内容は、総務・生産技術・海外購買。3人とも能力が高く、私たちにはない発想で、いろいろな提案をしてくれるので、会社

全体として、問題解決能力が向上しました。その一つが、ファワズさんが設計・開発した装置です。「生産の効率化を図るために、こんな装置をつくらないだろうか」という社長の投げかけに対して、ファワズさんがさらっと下絵を描き、CADで設計図を起こし、あっというまに完成させました。日本人従業員たちも刺激を受け、モチベーションが上がっているようです。(平田氏)

高度外国人材社員インタビュー

INTERVIEW

エンジニアとして腕を磨き、 将来的には管理者になりたい。

Fawaz Prihardi 氏
(ファワズ プリハルディ)

国籍：インドネシア
2023年入社



入社理由

インドネシアのバンドン工科大学で機械工学を学び、卒業後は機械保全エンジニアとして3年ほど働いていました。ポンプ製造の仕事は、その知識と経験をいかせるチャンスがたくさんあると考えました。また、ニクニアサヒでは、最先端技術を駆使したスマートファクトリー化を進めているので、改善や自動化の技術を身につけられるとも考え、入社を決めました。

業務内容

生産技術職として、生産工程の改善、治具設計、設計のVE(製品の価値を最大化する手法)提案から、設備導入計画の立案・履行、PLC(制御装置)プログラム作成までを担当しています。社内用生産設備の設計や製作にも取り組んでいます。そのほか、製造現場のスタッフに技術指導したり、プロジェクトを任せってもらったりして、良い経験になっています。

東北地域で働く理由・良さ

東京に住んでいる日本人の知人から、「東北は自然がいい」と、よく聞きました。実際に来てみると、空気も水も食べ物もいいですね。山形は果物の名産地で、私の好きなリンゴもおいしいです。静かな環境で、リラックスできるのも気に入っています。ニクニアサヒで働く良さは、私のような若手の提案でも、上司がしっかりと話を聞いてくれます。

今後のキャリアプラン

今も責任者としてプロジェクトに関わっていますが、今後、エンジニアとして、より大きなプロジェクトに従事したいです。そのためにも、複雑な問題に対処できる力を磨き、もっと幅広い任務を担えるようにならなければと考えています。生産現場におけるプロセスの改善を通して、会社の業績に貢献することで、将来的には管理者として働きたいです。